

1935(昭和10)年の「紀元節」での作文



博物館の窓

第90回

学芸員 持田 誠

2月11日は「建国記念の日」です。

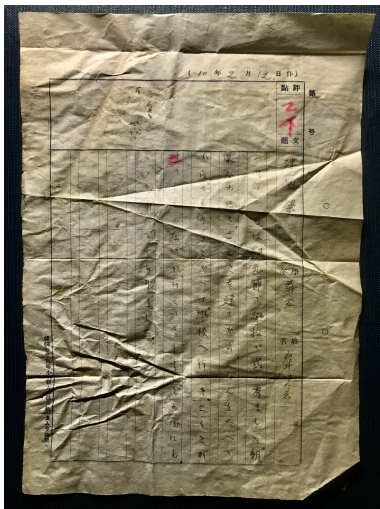
古事記などの伝承により、初代天皇である神武天皇が即位した日とされていることから、戦前の日本では「紀元節」と呼ばれ、特に盛大に祝われていました。

左の写真は、かつての紀元節の朝の様子を記した、当時の小学生の作文です。豊北で酪農をされていた、岩井巖さん宅の納屋で見つけられました。

日の丸がはためく紀元節の朝の街並みを描写した、貴重な記録だと思います。

建国祭 尋五 岩井津たゑ

二月十二日は紀元節で学校で式がありました。朝早くおきて、こくき「国旗」を建てから、ごはんをたべてから、きものをきかへて、学校へ行とき、こくきが建てあるかないか、みていきますと、どの家にも、こつきがたててありました。



くしゃくしゃに丸まった状態でみつかった綴方(作文)。右は文字おこしをしたもの。

(岩井巖さん寄贈資料。浦幌町立博物館所蔵)